



JILAF 海外労組指導者招へい事業

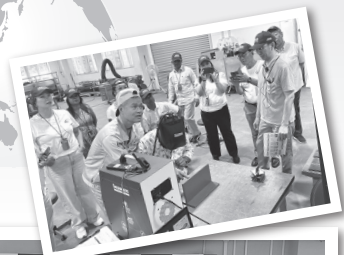
連合三重は8月4日(月)～5日(火)、国際労働財団(JILAF)の、海外労組指導者招へい事業の地方連合会プログラムとして、モンゴル・バングラデシュ(11名)の訪日団を受け入れました。

4日の県内視察先として三重県企業庁の高野浄水場を訪問し、水道用供給事業や水道事業の果たしている役割などについて理解を深め、午後からは連合三重の活動紹介と意見交換を行い、各国の労働組合の諸活動について意見交換を行いました。

5日は、ポリテクセンター三重に訪問し、技能や技術の向上に対して、職業訓練校の果たす役割など技能実習体験を通じて知見を広めました。



▲高野浄水場



▲ポリテクセンター三重

青年委員会現地研修会 ～「ほんだし」の美味しさのヒミツを探る☆～

9月4日、味の素(株)東海事業所様において、現地研修会を実施しました。初めに、味の素労働組合生産支部東海エリア長の佐藤さんより、東海事業所の紹介や労働組合の活動についてご紹介をいただきました。その後、各班に分かれて日本を代表する和風だしの素である「ほんだし」の製造工場を見学させていただきました。

「ほんだし」の美味しさのヒミツや、高い品質を維持するための取り組み、ロボットを駆使した最先端の製造ラインなど、体験も交えながらわかりやすく学べる工夫が盛りだくさんで、終始楽しみながら見学をさせていただきました。お世話になりました味の素(株)東海事業所の皆様、本当にありがとうございました。



▲かつお節削り体験



▲味の素労働組合の取り組み紹介



11月21日から



三重県最低賃金は
1,087円



最低賃金は毎年県ごとに見直しされており、三重県では11月21日(金)から、64円引き上げられ、1時間1,087円となります。

第74回三重労使会議を開催

9月9日、プラザ洞津において三重県経営者協会と連合三重による第74回三重労使会議を開催しました。

労使会議では、連合三重からの政策要請項目である中小企業支援、ジェンダーギャップの解消、高齢者の雇用対策などについて意見交換を行いました。

その後、労使協働事業の活動報告と、労使セミナーでは、三重県政策企画部部長の長崎禎和氏より「三重県の人口減少・人材確保」の演題で、三重県における人口減少や人材確保の対策、ジェンダーギャップ解消の取り組みについて講演を受けました。



▲連合三重役員



▲セミナー講師の
長崎政策企画部長

より働きやすい、暮らしやすい社会をめざして政策要請を行う

連合三重は、2025年「政策・制度 要求と提言」を三重県(9月29日)、三重県経営者協会、新政みえに対し、政策要請を行いました。

「政策・制度 要求と提言」には、働く者・生活者がより働きやすい、暮らしやすい社会をめざして、「持続可能で健全な経済の発展」「雇用の安定と公正労働条件の確保」「安心できる社会保障制度の確立」「社会インフラの整備促進」「くらしの安心・安全の構築」「民主主義の基盤強化と国民の権利保障」など6項目を掲げて要請書を提出し、意見交換を行いました。



▲三重県経営者協会(9月9日)



▲新政みえ(9月16日)

官公部門 連絡会

賃金や労働諸条件の改善を求める

官公部門連絡会は、7月8日と9月9日に、三重県人事委員会に対し要請書を提出しました。主な内容は、確実な賃金の引き上げや職場環境の整備、労働諸条件の改善、公務員の人材確保などについて要請し、意見交換を行いました。



▲人事委員会要請2025.7.8



▲人事委員会要請2025.9.9

金属部門 連絡会

親子でものづくりの 楽しさを学ぶ

7月26日、三重県サンアリーナにおいて金属部門連絡会主催の「親子ものづくり教室」を開催し、18組53名が参加しました。ものづくり教室は、子どもたちにもものづくり体験を通して、ものづくりの大切さや楽しさの魅力を伝え理解を深めてもらうことを目的に開催しています。今年は四輪モーター工作を親子で体験し、子どもたちはできあがった四輪を走らせてとても喜んでいただきました。

参加してくれた子どもたちは、ものづくりの楽しさを実感できる機会となりました。



▲18家族が参加



▲四輪モーター工作

次世代への 継 承

～戦後80年語り継ぐ～



今年で戦後80年となり、戦争の記憶が風化しつつある中、平和の尊さ、戦争の悲惨さ、そして核兵器廃絶を訴え、それらを語り継ぐために、さまざまな取り組みを行いました。

2025連合平和4行動は、沖縄行動(6月23日～25日)、広島行動(8月5日～6日)、長崎行動(8月8日～9日)、根室行動(9月5日～7日)が開催され、連合三重から34名が参加しました。

それぞれの平和集会で講演や語り部、被爆者、元島民からの訴えを聞き、ピースフィールドワークを通じて戦跡を巡り、戦争の実相に触れ、核兵器廃絶と恒久平和の実現を願いました。



沖縄行動



広島行動



長崎行動



根室行動

「平和パネル展」ならびに平和検定の取り組み

平和であり続けることの大切さを知っていただくため、7月24日～8月7日に三重県総合博物館で平和4行動の平和パネル展を行いました。また、未来へつなぐ連合運動として連合の「平和検定クイズ」も掲載し、連合平和運動を知っていただく機会となりました。



▲平和パネル展



▲街頭行動 (津駅前)



「核兵器廃絶1000万署名」の取り組み

組織へWEBによる署名の取り組み依頼をはじめ、7月23日の夕刻には津駅前で行頭行動を行い、署名の呼びかけを行いました。

世界で唯一の戦争被爆国である私たちの願いを日本政府と国連に届けましょう。核兵器廃絶と恒久平和の実現をめざして、署名QR「核兵器廃絶1000万署名」へのご協力をお願いします。

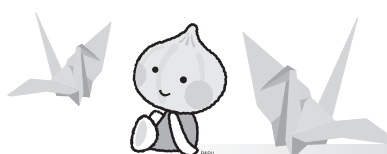


「被ばく体験伝承講話」 平和学習会の開催

8月7日に三重県総合博物館において65名の参加者の下、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館から被爆体験伝承者を招き、戦時下の人々の暮らし、原爆被害の概要、原爆の人体への影響など伝承者として平和の思いを講話いただきました。



▲平和学習会



ありがとう みんなの思いの折り鶴

今年は多くの方に、平和のシンボルの折り鶴に思いを込めて折っていただき、広島行動と長崎行動で献納を行いました。広島市の平和記念公園には、折り鶴を掲げた少女の像「原爆の子の像」があります。白血病で亡くなる直前まで鶴を折り続けた佐々木禎子さんをモデルにしています。去年、禎子さんが折った鶴の1羽が思いがけず、禎子さんの兄の自宅で見つかり、遺族にとっては平和への思いを新たに戦後80年となりました。

▶ 構成組織・地域協議会の皆様のご奮闘に心から御礼申し上げます



＜三重県知事選挙の結果＞

候補者名	得票数
当選 一見 勝之	366,887票
伊藤 昌志	164,504票
石川 剛	28,429票

三重県知事選挙、三重県議会議員補欠選挙が9月7日に投開票がされ、連合三重推薦の一見勝之さん、市野修平さん(桑名市・桑名郡選挙区)、曾我正彦さん(鈴鹿市選挙区)は、当選を果たすことができました。

多大なるご支援とご協力をいただきました各構成組織、各地域協議会の皆様に対し、心から感謝申し上げます。連合が掲げる働く者の立場に立った政策・制度を実現するためにも、引き続き、連合三重の諸活動への取り組みに対し、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



＜三重県議会議員補欠選挙(桑名市・桑名郡)＞

候補者名	得票数
当選 市野 修平	19,817票
当選 難波 聖子	9,513票
柴田 理恵	9,493票
森下 幸泰	6,974票
田中 松緑	1,587票



＜三重県議会議員補欠選挙(鈴鹿市)＞

候補者名	得票数
当選 曾我 正彦	36,138票
田中 淳一	24,452票

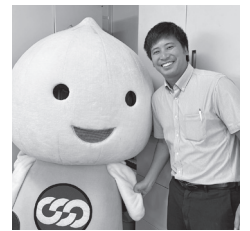
スタッフ紹介

はじめまして。6月1日から連合三重に入局させて頂きました中野 真です。

先日入籍し、安定した日々の積み重ねの大切さを実感する中で、組合員の皆様が安心して生活を続けられる環境を守ることをなにより大事にしたいと思いました。

また、組合員の皆様それぞれの悩みや不安に寄り添い、より働きやすい環境の実現に向けて勉強し、行動していきたいです。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



愛のカンパで支援の輪を広げよう

た社会貢献活動として、NGO・NPO等の事業・プログラムへの支援や、自然災害などによる被災者に対する救援・支援を目的に、「連合・愛のカンパ」に取り組んでいます。

今年は、連合三重へ三教組と紀北地協から各1団体ずつ地域助成の申請を受けて連合本部へ申請し、第23回中央執行委員会(8月21日)で申請通りの金額で助成金が決定されました。

◆特定非営利活動法人メディカルサポートMIE(三教組)
助成金300,000円

「Dream Fam家族でワクワク体験 ～FUN(楽しい) FAM(家族)のきずなを深める オンラインスクール～」事業で活用します。



HP

◆紀北広域バラスポーツクラブ(紀北地協)
助成金150,000円

「地域みんなに広げよう! バラスポーツの輪」の事業で活用します。



Instagram

三重県の個別労働紛争のあっせん制度について

●解雇、賃金、配転問題など 職場を巡るトラブルの解決に、労働相談室と労働委員会が、連係プレーでサポートします。

労働相談室



経験豊富な専門の相談員がじっくりお話をお伺いし、制度の案内や関係機関の紹介など、解決に向けたアドバイスをを行います。

労働委員会のあっせんの窓口にもなります。

労働委員会



労使間での解決が難しいとき、公・労・使 三者構成のあっせん員が、中立・公正な立場から調整を行い、話し合いを促進することで、円満解決へのお手伝いをします。

○ご利用は無料です。まずは労働相談室にご連絡ください。

三重県労働相談室 津市栄町1丁目891 三重県勤労者福祉会館1階 TEL 059-213-8290 info@mie-kinfukukyo.or.jp

○制度に関するお問い合わせは、労働委員会(事務局)にご連絡ください。

三重県労働委員会事務局 津市栄町1丁目954 三重県栄町庁舎5階 TEL 059-224-3033 roui@pref.mie.lg.jp

※連合三重は、労働委員会に委員を派遣し、労働者の職場環境の改善に向け、ともに取り組んでいます。

安心社会づくりに向けた福祉活動に、各種団体と連携して取り組みます

N三重県労福協

〒514-0004 津市栄町1丁目891
三重県勤労者福祉会館内
TEL 059-225-2855
FAX 059-229-4433
ホームページ <http://www.mie-rofkyo.jp>

豊かで、公正な社会づくりをめざして。

健康・安心・貢献 東海ろうさん

〒514-0003 津市桜橋2丁目126番地
TEL 059-224-0336
FAX 059-224-4819
ホームページ <http://tokai.rokin.or.jp>

私たちは、日本てただひとつ。はたらく人のための生活応援バンクです。

こくみん共済 coop

〒514-0004 津市栄町4-259-1
TEL 059-227-6167
FAX 059-225-5069
ホームページ <https://www.zenrosai.coop>

共済事業をとおして「労働者福祉運動」をサポートします。

三重県住宅生協

〒514-8540 津市栄町1丁目891
三重県勤労者福祉会館内
TEL 059-225-0851
FAX 059-225-0337
ホームページ <http://www.mie-jsk.or.jp/>

理想の住まいづくりをカタチにする暮らしのパートナー。